



新しく建設された40メートル道路下の五孔排水管は南北両側の遊水池を接続している

六ヶ所の遊水池の計画完備

台南園區は地形的には低窪地に位置し、排水口には外部の水が入りやすく、開発初期に2度浸水したことがあった。この為、南科では水利署の協力を得て、合わせて6つの遊水池の設置を計画し、貯水区域は園内の他、園外にも設けられる予定である。現在、既に道爺湖、霞客湖、迎曦湖の3箇所の遊水池が完成し、他の3つは未完成であるが既に貯水機能は十分に備えられている。

遊水池の流量は開発50年後の頻度を想定し、園區最大の遊水池である迎曦湖の有効容量は30万立方メートルである。貯水区は園区内と園區外の北三舎、南三舎の二つの集落の周辺地域に設けられ、総貯水面積は約250ヘクタールである。貯水区からの流出が迎曦湖に流れ込んだ後、湖に設けられた洪水防止用ポンプステーションを利用して、大洲に排水する。ポンプステーションの揚水量は開発前10年の頻度を超えない数値を想定し、最大揚水量は20 CMSである。遊水池内の余りの水は自然排水方式を採用し、遊水池内外の水が一定の高さを越えると水は堤防を超え、自然に流れ出る仕組みである。

労働安全環境保護月間、防災対策の徹底

労働安全及び環境保護活動は南科において重要な伝統であり、南科管理局では毎年10月、盛大に「南科労働安全環境保護月間」を実施している。これは10月1日から31日までの一ヶ月間、様々な労働安全環境保護関連の活動を行うもので、労働安全環境保護フォーラムや学術シンポジウムの開催、生態環境保護活動、従業員親睦会、災害応急訓練を行い、また優良団体や個人の表彰等も実施している。この活動は園区内企業の労働安全環境保護技術、経験の交流の場であると同時に、園區外の企業や学校及び関係機関等も参加して行われ、産、官、学の資源の統合が図られると共に、園區の安全と持続可能な経営環境の保護に積極的な役割を果たしている。



南科管理局陳俊偉局長(左3)と労働安全環境保護優良機関及び受賞者記念撮影(10月26日)

労働検査新対策講座

南科園區従業員の安全衛生の推進は中央主管機関である労委会から南科管理局に一括して任されており、管理局では園区内企業に勤める従業員に対し単一の窓口を設け、サービスを行っている。現在、政府が推進している二三三災害防止方案、及び労働検査対策については南科管理局は2006年10月5日、園区内の関連機能の強化の為に、特別に労委会労働者検査所の林進基所長を招き、我が国の労働検査新対策について講演会を開催した。

シリコンメタンの安全使用と緊急時対策

園区内の半導体企業や光電子企業の製造過程では、危険度の高いシリコンメタンを一般的に使用しているが、国内外でこの気体による事故が多数報告されている。南科管理局ではこれに鑑み、2006年10月5日、高雄第一科学大学の陳政任教授、三福気体会社等と共同でシリコンメタン漏れとそれに伴う爆発模擬実験を行い、この研究結果を参考に災害の原因分析と今後の事故防止対策に取り組む計画である。また、合わせて「シリコンメタン安全使用と緊急時対策」について講演が行われた。

健康管理

ハイテク産業の従業員は仕事柄、危険物質に近づき、職業病を引き起こす潜在的な危険に曝されているばかりでなく、労働時間が長くストレスも大きい為、心身の健康を害しやすい環境にある。この為、如何に健康管理に取り組むかが当面の急務である。この課題に対し、南科管理局では2006年10月5日、国内職業病予防の専門家である台湾大学公衛学院職業医学、工業衛生研究所の王栄徳教授を招き、「工場のISO-14001、ILO-OSH 2001基準達成と職業病予防対策」のテーマで講演会を行った。

新工場建設と震災防止対策

台湾は地震発生頻度の高い地帯にあり、これは園區のハイテク産業にとって一つの障害、脅威になっている。工場建設にあたっては、設計段階において地震災害要素を考慮に入れる必要があり、同時にハイテク産業の工場建設には災害の危険も伴う為、如何に建設段階において安全衛生を考慮し、事故防止に努めるかが重要な課題である。南科管理局では2006年10月12日、この課題について専門家を招いて講演会を開催した。労委会労働者安全衛生研究所安全課の林楨中研究員からは「ハイテク工場建設工事における安全管理」、また、成功大学建築学部の姚昭智教授からは「ハイテク工場の震災防止対策」のテーマで講演が行われ、「非結合システム機械、工場設備の震災防止設計の安全評価」については工研院能環所工業安全技術課の黄建彰博士が講演した。

環境保護の新しい潮流

2006年10月23日、南科で環境保護フォーラムセミナーが開かれ、南科管理局は經濟部加工輸出区管理所の李穆生組長と行政院環境保護署水質保護所の馬念和勛任技師を招き、それぞれ「将来の環境保護の発展」、「事業と汚下水道システムの水質汚染防止措置管理、及び検査申請法草案説明」等のテーマで講演が行われた。また、園区内の企業が更に環境保護の意識を高め、また、水質汚染防止法の新規定等について理解を深め、非常時に対応できるよう、討論形式の演説、意見交換の場が設けられた。

毒性化学物質に対する防災訓練

2006年、台南県・南科毒性化学物質災害処理器材展及び実際の軍隊出動による防災訓練が台南県環境保護局と南科管理局の主催で行われ、元神光電が請負い実施した。2006年10月25日午後開幕したこの演習には衛生局、南科連合診療所、保警隊、南科毒物災害対策諮問センター、園區連合防災組織、南科消防隊及び環境保護推進基金会等の各団体が参加し、並びに、初めて「緊急時対策支援専門システム」が始動した。



2006年毒性化学物質災害対応実地訓練(10月25日)